

広報

ましま

大洲盆地の夜明け

2021

1

No.192

あいさつ

大洲市長

二宮 隆ひさ久



未来に向けた変革の時

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素より市政の各分野にわたり、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、国内でも緊急事態宣言が発令されるなど、経済活動や日常生活に大きな影響を受けた1年でありました。

現在も、新型コロナウイルス感染症に対して細心の注意を払わなければならない状況に変わりはありませんが、感染症対策の各種ガイドラインに沿いながら工夫を凝らして事業展開をいただいております皆様から心から感謝を申し上げます。

市民の皆様には、日々の体調管理に十分にご留意いただき、マスクの着用、こまめな手洗い、3密の回避など基本的な感染症対策の継続をお願いいたします。一方で、昨年も梅雨前線による令和2年7月豪雨や台風10号の接近などにより、全国各地で甚大な被害が報告されています。このように近年は、気候変動の影響により激甚な災害が頻発化する状況となっております。気候変動を踏まえた治水対策を関係者が協働して行う「流域治水」

の推進が必要不可欠となっております。現在、肱川水系でも協議会を設置して、流域治水プロジェクト策定に取り組んでいるところです。肱川緊急治水対策による築堤工事等の早期完成を目指すと同時に、国、県、流域自治体等と連携してハードとソフトが一体となった事前防災の取り組みを加速していかねばなりません。

また、昨年3月に「肱川かわまちづくり計画（第1期）」が登録されました。肱川流域の文化財や地域の歴史を生かしながら、緑豊かな肱川の風景と育まれた文化、流域で息づく営みを未来へとつなげるため、治水対策や防災・減災対策に取り組みと共に、肱川の魅力を最大限に活用したまちづくりを進めてまいります。

今年、4月に宝塚歌劇団雪組のトップスターに本市出身の彩風咲奈さんが就任されるという朗報が届いています。全国から俊英が集う宝塚で、トップスターへの階段を歩まれた彩風咲奈さんに市民の皆様とともに高らかにエールを送りたいと思います。そして延期された東京オリ

ンピック・パラリンピック、県内では、復興イベント「えひめ南予きずな博」が開催されます。平成30年7月豪雨からの復興は、まだ道半ばであり、引き

続き復興事業に取り組みとともに、アフターコロナを見据えて、地域の歴史、伝統や文化、自然などの魅力を全国にPRすることで「大洲ファン」を増やし、移住や定住につなげ、将来にわたって元気な地域づくりを進めていきます。

新型コロナウイルス感染症の発生は、従来の生活のあり方の見直しを始め、経済、労働、教育、地域活動など、さまざまな分野や社会システムにおいて、大きな転換点となり、新たな出発点になると捉えています。私たちは、ウイズ・コロナの時代を未来に向けた変革の時にしなければなりません。

本市といたしましても、感染症対策を通じて明らかにした諸課題の解決に迅速に取り組み、デジタル化の推進や環境問題など社会の変化に適応し、将来を見据えた教育・医療の充実と経済の再生を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が災害のない平穏な年となり、市民の皆様にとりまして幸多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年のご



大洲市議会議長

安川 哲 生

地域に根差した課題解決

あけましておめでとうござい
ます。

令和3年の輝かしい新年を寿
ぐとともに、市民の皆様には健
やかに新春をお迎えのことと心
からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス
が世界規模で大流行し、多くの
尊い命が失われ感染者が増え続
ける中、日本経済や地域経済に
甚大な影響を及ぼして、未
だ終息の兆しが見えない状況で
す。

感染拡大防止のため医療や福
祉、経済、教育にいたる日常生
活のあらゆる営みにおいて、3
密回避をはじめとする感染回避
行動を実践していただいている
ことに感謝申し上げます。

このような状況であるからこ
そ、地域に根差した活動を拡充
し、先の見えない将来に大きな
不安を抱えている市民の皆様の
声を聴き、行政に伝え反映させ
ていくことが市議会の重要な責
務と考えます。

本市では、新型コロナウイルス
の難局が新たな行政課題とし
て浮上する中で、平成30年7月
豪雨災害からの復興を最優先に
安心して暮らせるまちづくりを
進めるため、「大洲市復興計画」

による各種施策に取り組んでい
るところであり、過去の災害で
得られた教訓を生かした取り組
みを加速していかねばなりません。

さらに、デジタル化の推進、
防災・減災・国土強靱化対策を
はじめ、人口減少・少子高齢化
対策、商工観光の振興、中山間
地域や中心市街地の活性化な
ど、本市が克服すべき課題は山
積しています。

これらの課題に対しては、地
域の特性を生かし市民の皆様の
力を結集すれば、着実に解決へ
の糸口が見えてくるはずであ
り、そのような意識の共有を図
り克服していくことが肝要と考
えます。

市議会としても、一日も早く
平穏な生活を取り戻し、商工業
や農林水産業などが以前の活気
を取り戻せるよう、行政と力強
く手を携えて取り組んでまいり
ます。加えて、国においては、
未曾有のコロナ禍で地方が抱え
る課題解決に向けて、菅内閣に
対し力強い支援を期待します。

一方、市民に開かれた信頼さ
れる議会となるよう、自らの改
革と議会機能の強化および活
性に資するため、「議会活性化
特別委員会」を中心に、大洲市

議会基本条例の検証・評価およ
び推進、災害時の議会の対応方
針、議会ICT化など、これか
らの議会のあり方を常に考え活
動しているところです。

また、大洲市議会は本年改選
となります。全議員が気持ち
新たに、後世にこのすばらし
いふるさと「おおず」を引き継
いでいくために創意工夫を重
ね、市民の皆様への期待に応える
よう邁進してまいります。

今後におきましても、市議会
としての責務を十分認識し、議
員自ら自己研鑽に努め、市議会
の改革・活性化に引き続き取り
組むことはもとより、郷土発展
のため誠心誠意全力を傾注して
まいりますので、なお一層のご
支援、ご協力をお願い申し上げ
ます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして幸せで実り多く、自らの夢が叶い活躍できる年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといた

NEXT きらめき[★]

大洲市立栗津小学校和太鼓クラブ 令和2年度優良青少年団体及び青少年知事表彰受賞



大洲市立栗津小学校和太鼓クラブは、令和2年度優良青少年団体および青少年知事表彰を受賞しました。

平成4年に栗津祇園太鼓保存会が発足し、子どもたちに太鼓を親しんでもらうために、クラブ活動の一環として立ち上げました。現在は4年生から6年生の11人、栗津祇園太鼓保存会指導のもと、練習を行っています。八多喜夏祭りや学芸会、開校記念式典の記念演奏などで成果を発表しています。

クラブ長の近藤ゆなさんは「演奏は難しいけど、みんなと合わせることができたときはとても嬉しい。これからも和太鼓を続けていきたい」と話しました。

1月の納税など 納期限は2月1日(月)です。

税 別	1月	2月	3月	4月
市 県 民 税	4期			
固 定 資 産 税		4期		1期
軽 自 動 車 税				
国民健康保険税	7期	8期	9期	

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。
納期限内であればコンビニでも納付することができます。

現在の太洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	42,070人 (- 32)	件 数 36件(58件)
男	20,151人 (- 9)	死 者 1人(0人)
女	21,919人 (- 23)	負傷者 43人(64人)
世帯数	19,837世帯(+ 2)	

(2020年11月末現在)

CONTENTS 目次

- 2 ページ～ 新年のごあいさつ
- 4 ページ NEXTきらめき・今月の表紙
- 5 ページ～ (特集)復興の火・まちかどピアノ
- 8 ページ～ おおずニュース
- 11ページ～ シリーズ
- 13ページ～ おしらせピックアップ
- 23ページ 情報ひろば
- 24ページ 集まれ0級若モン・図書館
- 26ページ～ 保健センター・各種相談ガイド
- 28ページ がんばるひと (主馬神伝流)

今月の表紙



幾度もチャレンジされ、10月26日早朝の金山出石寺から撮影された日の出の写真です。

大洲盆地に広がる雲海の中に神南山が浮かび上がっています。

撮影：谷岡 明さん

(特集)

「復興のシンボルとして」

～よみがえったグランドピアノ～

かどピアノ



思い出ピアノ
自由に弾きください
Please feel free to play

「榊生小学校」で
子供たちと一緒に大切に
使われてきたピアノが、
皆さんに奏でて頂く
機会がやってきました。

Please feel free to play ~

平成4年に購入された旧榊生小学校のグランドピアノは、子どもたちの歌声とともに屋内運動場で鳴り響いていましたが、20年後の平成24年に小学校が閉校となり、その片隅で静かに佇んでいました。

役目を終えたかに見えたそのピアノは、8年間の時を経て、活躍する場を平成30年7月豪雨災害で被災したオズメッセに移し、11月21日(土)まちかどピアノ「復興のシンボル」として新しい役割を果たすこととなります。



【まちかど（ストリート）ピアノ】

通りがかった人が音を奏で、通りがかった人がその音を聴き、足を止め、そして、会話が生まれ、コミュニティが生まれる。

オープニングセレモニーで、二宮市長は、「大洲市では初めての試みとしてまちかどピアノを設置しました。このピアノから奏でる音色に足を止め、会話が生まれ、つながりが生まれます。子どもから大人まで集う賑わいの場となることを期待しています。平成30年7月豪雨災害から復興に向けてみなさんの努力により今日まで一歩一歩再開を果たされてこられました。櫛生の子どもたちの健やかな成長を育むために使用されてきたこのピアノが、新たに復興のシンボルとして大洲市のさらなる発展に寄与することを願っています」と話しました。

また、設置に協力されたオズメッセ代表取締役社長の菊地秀明ひであきさんは、「私自身、櫛生小学校の卒業生として今回の試みを大変うれしく思っています。災害や新型コロナウイルスなどの世界中で起きている苦難について、経済成長を求めて進んでいる物の豊かさを追求する世の中から、心の豊かさを求めて舵かじを切るそんなシンボルになればと思っています。そして、この場所が文化芸術の柱となり、市民のみなさんの心のオアシスになればと思っています」と述べました。



小松 夢侑むゆさん
(平小学校2年生)

今は、大洲に住むことになって、大洲市のために何か役に立てればとずっと思っていました。そんな中、広報で今日のまちかどピアノオープニングイベントを知って、市民のみなさんへ音色で貢献できればと思い参加しました。



【まちかどピアノの演奏に訪れた小松さん親子（大洲市）】

平成30年7月豪雨災害の時は、

高知県高知市に住んでいて、テレビやインターネットで大洲市が被災した状況を見て心が痛みました。



【まちかどピアノ概要】

【設置場所】

オズメッセ（イベント広場周辺）

【設置期間】

大洲市復興計画期間となる令和6年3月31日までの予定

【利用について】

店舗営業時間内（午前9時から午後8時まで）であれば自由に弾くことができます。

【利用の際の注意事項】

- ▽マスクの着用をお願いします。
- ▽ピアノに触れる前と後で手のアルコール消毒をお願いします。
- ▽消毒後は手が乾いた事を確認のうえ演奏してください。
- ▽連弾や他の楽器、歌との合同演奏はお控えください。
- ▽演奏者や鑑賞者同士の間に必要な距離（2m以上）を確保してください。

▽体調の悪い人、発熱症状のある人の演奏はお控えください。

▽ピアノを弾いた後は、ピアノ鍵盤専用クリーナー「キークリン」で除菌をしてください。

【問い合わせ先】

復興支援課支援調整係

☎579989



【旧櫛生小学校屋内運動場から搬出】

【オープニングセレモニーで演奏したみなさん】



小谷酒店

おだに かおる
小谷 薫さん

機会がなくなり、10年ほどが経ちました。久しぶりの舞台なので、楽しんで演奏しました。

そして、このイベントを機に更に多くの人に大洲を知っていただき、大洲の空気に触れていただければと願っています。



大洲小学校6年生

かみの
上野 春樹さん

を元気にする力があります。まちかどピアノが少しでも大洲復興の役に立てばうれしいです。



長浜小学校4年生

たにだ のあ
谷田 乃愛さん

被災した大洲のみなさんに少しでも元気を届けられるように一生懸命演奏しました。頑張ろう大洲。私は大洲が好きです。



肘東中学校1年生

くろき まさい
黒木 纏衣さん

私は、保育士になりました。ピアノを習い始めました。今では、ピアノの人の心を美しくしたり、元気付けてくれるところもとても好きです。

この「まちかどピアノ」が、多くの人の心と個性を豊かにしてくれる存在となるように願っています。